

電子タバコ、加熱式たばこの普及とその規制を韓国に学ぶ

【はじめに】日本でも、従来の低ニコチン・低タールを謳うタバコに代わって、新型タバコと呼ばれる電子タバコ・加熱式タバコが普及してきています。ニコチンを含む電子タバコは、医薬品医療機器等法に基づく承認が必要ですが、現時点で認められた製品はありません。しかしながら、市場に出回っている電子タバコ製品の多くにニコチンが含まれていることが明らかになっており、このような未承認製品の販売は違法であるだけでなく、品質や安全性の確認がなされていないため、非常に危険であり、危惧すべき状況です。なお、米国では、加熱式タバコは、従来の紙巻きタバコに比して明らかな健康上の優位性が認められないとして、上梓されていません。

一方、2018年に平昌オリンピックを煙のないオリンピックとして成功させた韓国では、電子タバコ、加熱式タバコの両方とも販売されています。

本ミーティングでは、韓国での新型タバコの普及状況や、受動喫煙防止の観点からそれらに対する法規制についてレクチャーしていただきます。それを踏まえて、日本はこれらの新型タバコについてどのような対応をしていくべきかを討議するだけでなく、併せて新型タバコ使用者への禁煙支援についても考えていくような建設的な時間となることを期待します。

【プログラム】

1. 開会の辞：座長挨拶 (高橋 裕子) (17:00 - 17:05)

2. Regulation of electronic cigarettes and HNBT (Heat-not-burn tobacco) in Korea

「韓国における電子タバコと加熱式タバコの規制」(17:05 - 17:35)

講師: Heejin Kimm (延世大学 公衆衛生学 (疫学・健康増進部門) 准教授)

3. 質疑応答・ディスカッション (17:35 - 17:55)

【略歴】

1993-1999 MD, College of Medicine, Ewha Womans University, Seoul
 1999-2000 Internship, Catholic University St. Paul Hospital, Seoul
 2000-2003 Residency, Ewha Womans University Mok-dong Hospital, Seoul (Family Medicine)
 2003 Family Physician, Korean Ministry of Health & Welfare
 2004-2006 MPH, Graduate School of Public Health, Yonsei University, Seoul (Epidemiology & Biostatistics)
 2003-2004 Fellowship, Ewha Womans University Mok-dong Hospital
 2004-2006 Instructor (2005-2006), Dept. of Family Medicine/Health Examination, Eulji Medical Center, Eulji Medical University
 2006-2009 PhD, Ewha Womans University, Seoul, Korea (Family Medicine)
 2006-2007 Medical Advisor, GSK Korea
 2008-2010 Research Associate Professor, Graduate School of Public Health, Yonsei University
 2010- Assistant Professor, Associate Professor, Dep. of Epidemiology and Health Promotion, Graduate School of Public Health, Yonsei University